

互近助

# おか防くん

No. 1

2018年  
5月



岡保地区自主防災組織連絡協議会

岡保地区自主防災組織連絡協議会 福井市河水町 10-13 岡保公民館内 ☎0776-54-2519

6月10日は、防災訓練だよ。家族みんなでシェイクアウト、やってみよう

はじめまして、**おか防くん**です。ぼくは、これから岡保地区自主防災組織連絡協議会のみなさんといっしょに、「災害」や「防災」について考え、もしも災害が起きたときには、素早く、的確な行動がとれるようになりたいと思っています。そのためには、日頃から“互いに 近くの人と 助けあう”互近助さんのおつきあいを大切にして、その輪を広げていけるように頑張りたいと思っています。



## 安心・安全は 自治会活動の基本

岡保自治会連合会  
会長 松井 武夫

「安心・安全なまちづくり」は、自治会活動における基本的な命題ですが、これには住民の皆さん一人おひとりが主体的に取り組もうとする姿勢と行動が求められます。すなわち、安心・安全は行政に頼る「公助」だけでは限界があり、「自助」「共助」の行動が求められます。日頃から万々に備えて自らの身の回りの安全を確保し、いざという時に隣近所や町内住民が助けあう仕組みを作っておくことが大事です。

そして、いざというときにその仕組みを有効に機能させるためには、実際の災害を想定した訓練が必要なことは言うまでもありません。

今年の6月の防災訓練では、岡保地区防災3か年計画の初年度として、従来以上に具体的な訓練を計画していますので、各町内の自主防災組織の指示に従って、住民一体となった訓練を心がけて下さい。



## 多発する災害に 備えの重要性痛感

岡保自主防災協議会  
会長 泉 和弥

平素は、岡保地区自主防災組織連絡協議会の運営に格別のご協力、ご支援を賜りましてありがとうございます。『おか防くん』の発刊にあたり一言ごあいさつをさせていただきます。自主防災組織連絡協議会は、平常時においては、地区内の自主的な防災活動の充実を図り、災害時においては各町内、防災組織等との連絡、連携、調整をし、住民の安全を確保することを目的としています。

近年各地で災害が多発し、昨年夏には岡保地区に大雨による避難準備情報が出され、今年2月にも大雪を経験し、あらためて日頃の災害に対する備えの重要性を痛感しているところです。この広報誌『おか防くん』を通じて防災組織の活動の紹介はもちろん防災知識の普及・啓発・情報発信を行い、災害が発生した時でも被害を予防・軽減できるよう、地域の防災力を高めていきたいと考えています。今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

## 岡保に200万円の助成決まる

宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ助成事業があります。平成30年度の地域防災組織育成助成事業で、福井県から岡保地区自主防災組織連絡協議会が選ばれ、200万円の助成がされることが決定されました。

申請したのは、①組立テント(三方幕付)、②テントウエイト、③バルーン投光機、④折りたたみ式リヤカー13台、⑤トランシーバー16個です。総額216万円余になりますが、このうちの200万円が助成されることになります。

購入はこれからですが、④⑤は各町自主防災会に「貸与」することにしています。



# 防災訓練3か年計画はじめるよ

ホップ ステップ ジャンプ 2020年、岡保小学校に全員集合!!

いざというとき、地域防災活動の主力になるのは自主防災組織です。岡保では、防災訓練の取り組みを中心にして、各町自主防災会の再確立をはかり、防災活動が活発化することをめざしています。

昨年度の防災訓練では、避難訓練の後に、各町で水消火器訓練や煙中体験などの独自訓練が取り込まれました。こうした経過を踏まえ、今年度から地震発生を想定した「岡保地区防災訓練3か年計画」の取り組みをはじめることになりました。



災害対策本部開設

## 岡保地区防災3か年計画

### ① 1年め (今年) ホップ!まず「自助」をしっかり

- \*各自主防災会：1)各家庭で「自助」に取り組み、一時避難場所に避難します  
2)独自訓練も、「地震」を想定したもので行います

\*災害対策本部：岡保小学校に災害対策本部を設置します

### ② 2年め (来年) ステップ!そして「共助」の取り組みを

- \*各自主防災会：まず「自助」、そして隣近所で助けあって、一時避難場所に集合後、岡保小学校に避難します

\*災害対策本部：避難所開設に取り組みます

### ③ 3年め (2020年) ジャンプ!最後に岡保小学校で「公助」の総合防災訓練

- まず「自助」、そして「互近助」、各町一時避難場所に集合後、「共助」で岡保小学校に移動、総合防災訓練「公助」に参加します



## 各町の3か年計画つくろう

各町でもそれぞれ「防災訓練3か年計画」づくりに取り組み、町内みなさんの参加・ご協力で各年の訓練をステップアップしていきましょう。



水消火器訓練(寮)

◎各町での独自訓練は、「岡保地区3か年計画」を参考に、各町自主防災会・自治会で自主的に企画していきましょう。

◎訓練のメニューは、初期消火訓練、バケツリレー訓練、救助・救出訓練、ロープ結束訓練、救急訓練、避難誘導訓練、情報収集・伝達訓練、給食・給水訓練、図上訓練、防災講話、防災DVD視聴、班別討論など…

◎訓練に当たっては、岡保地区・東消防署・消防団・女性防火クラブなどと連携して取り組んでください。



防災講話(荒木別所)



おかぼうくん

ぼくは、安全のため、岡保のシンボルマーク入りのヘルメットをかぶって、いざというときのために、防災グッズを入れたリュックを背中にしょってるよ。防災の「防」の字の入ったシャツがお気に入りだよ

あかぼうくんを  
かぶっている

(宮地町) 宮川和也さん画

## 昨年取り組まれた各町の独自訓練



水消火器訓練（大畑）



水消火器訓練（花野谷）



土のう袋の説明（宮地）



班の活動の再確認（合島）



煙中訓練（堅達）



防災ワークショップ（河水）



特殊消防車の説明（印田・殿下）



水消火器訓練（岡西谷）



自警団放水訓練（曾万布）

## 互近助で避難行動要支援者支援を

地震などの災害時に、加齢や障害により自力での避難や意思表示が困難な方を、避難行動要支援者と呼んでいます。避難行動要支援者の支援には、日ごろから町内のみなさんの関わり合いが欠かせません。無理のない方法で、町内でできることから少しずつ積み重ねていくことが大切です。

災害時に要支援者が直面すること

- ①助けを呼べない
- ②自力で行動できない
- ③状況を理解しにくい
- ④状況の変化に対応が難しい
- ⑤サポートなしでは容体悪化も



地域のみなさんができる支援とは

- ①安否確認 → 訪問しての声がけ
- ②救護・救出 → 家具の下敷き等からの救出
- ③避難誘導 → 自宅で生活できない場合に避難所などへの移動介助
- ④情報伝達 → 必要な情報の伝達
- ⑤救援の要請 → 支援が必要な場合に消防や防災会への通報

岡保では、昨年8月に自治会、自主防災会、社会福祉協議会、民生児童委員、福祉委員の代表者会議を開き、避難行動要支援の取り組みをスタートさせました。11月に関係者の全体会議、そして今年3月まで各町ごとに関係者会議を開いて、避難行動要支援者の確認、支援プランづくりなどをすすめてきました。各町のみなさんのご努力下、取り組みは大きく前進。今後は、まだ登録していない方の確認や災害時の具体的な支援などについて、検討していくことが求められています。

# 今年の岡保地区防災訓練

- \*日 時 6月10日(日) 8:00~(雨天決行)
- \*場 所 自宅・各町一時避難場所・各町内指定場所
- \*目 標 2020年総合防災訓練へのファーストステップ  
~「自助」を中心に据えて~
- \*実施内容

- ①自宅で、シェイクアウト訓練
  - ・地震が起きたら、まず安全確保行動1-2-3を
- ②一時避難場所へ、避難訓練
  - ・「避難済」のタオルを玄関戸に、そして集合場所へ
- ③各町ごとに、独自訓練

インターネットで「シェイクアウト訓練」で検索すれば、映像・音源があるよ。事前にトライしてみよう!

## 訓練の流れ



- 午前8時に訓練開始の防災無線が流れます。
- つづいて、有線放送で「シェイクアウト訓練」の放送が流れます。  
※有線のない方は、防災無線が流れたら、以下の動作をしてください。
- 地震です!その場で安全確保行動1-2-3「まず低く、頭を守り、動かない」を行いましょ。

◎まず体勢を低くして地面に近づきましょう。(強いゆれであなたが倒れる前に!)

◎固定されたデスクやテーブルの下に入り、頭を守りましょう、頭を守るものがない場合は、腕や荷物を使って、頭を守りましょう。

揺れがおさまり屋外に出ても安全上問題ないと判断するまで室内に留まっておきましょう。わが国のビルの大半は、その場で留まっておいたほうが安全です。

地震のゆれ自体でケガすることはめったにありません。地震による死傷例の大半は家屋の倒壊や、ガラスの破片や落下物が原因です。安全な場所へ避難しようと長距離を移動することでケガする例がもっとも多く、避難の際の移動距離を最小限に留めることがとても重要です。

- 家族の安否確認し、(非常持ち出し袋を持って)家の外へ出ましょう。
- 玄関を施錠し、玄関戸などに「避難済」のタオルを結びつけましょう。



まず低く  
DROP!



頭を守り  
COVER!



動かない  
HOLD ON!

## 2

- 自治会・自主防災会で決められた一時避難場所へ避難しましょう。
  - ◎集まったら、隣近所の方は避難できているか確認してみよう。
  - ◎確認できたら、自治会長(自主防災会長)さんは災害対策本部に避難者数などの報告をしてください。



## 3

- 最後に、避難場所・集落センター等で行われる各町の独自訓練に参加しましょう。



水消火器訓練(次郎丸)

いざという時にすばやく反応する、的確な対応がとれるようにするためにはできるだけ多く練習を積んでおくことが必要です。地域のみんなで取り組みましょう。



おかほ

『おか防くん』は防災ファイルにひとじて保存してください。

シェイクアウトとは、「地震を吹き飛ばせ」といった意味の造語。アメリカで始まった地震防災訓練です。家族みんなでやってみよう。